

I 教育理念・教育方針

『盈たして進む』

【盈進・・「源泉混混不舍晝夜 盈科而後進放乎四海」】

中国戦国時代の儒学者である孟子の教えであり、「源泉は混混として晝（お）夜を舍（か）かず、科に盈（み）ちて而（しか）る後に進み四海に放る。」と読みます。やさしく言い直すと、「水はその源からこんこんと湧き出て、昼も夜も休む時がない。その流れは、窪みがあればまずその穴を盈たしたのち、初めて流れ出して四海に進む。」その意味は、「水が穴を盈たしてから先に進むように、学問の道も足りないものを補いつつ、よく順序を踏まえて進むことが大事である。」ということです。

子ども達への大切なメッセージとして、下記のことを繰り返し丁寧に伝えて欲しいと思います。

「盈進小学校で学ぶ子どもは、どんな困難にぶつかっても、こつこつと努力を重ね、それをしっかり乗り越えて前に進んで欲しい。」

「盈進」という校名に込められた先人の強い思いを大切にするとともに、未来を担う大切な人材を育成するという自覚をもって、「子どもたちのよりよい成長のために、絶え間なく努力を続ける教育」を実践していきたいと思えます。

II 教育目標

『夢はでっかく 根はふかく』

©相田みつを美術館

～ふるさととつながり、みんなの夢があふれる学校～

書の詩人、いのちの詩人とも称される「相田みつを」さんの作品ですが、子ども達の教育に大切なものを教えてくれるものだと感じました。

【夢はでっかく】

人が人生をより充実したものにするためには、夢を抱くことが必要です。その夢は、大きいものであればあるほど、その過程も充実したものになります。

「大きな夢」「高い目標」「確かなめあて」をしっかり持たせることで、毎日の授業・学校行事等の教育活動を充実・発展させていきましょう。

【根はふかく】

大きな夢をかなえるためには、それを支える太く深くはった根が必要です。しっかりとした根をはるためには苦労も努力も必要です。子ども達の根っこ（盈進っ子に身に付けさせる資質・能力）を鍛えて、夢・目標・めあての達成を目指していきましょう。

結果にこだわり精一杯取り組ませることで、「達成した喜び」「とどかなかった悔しさ」をたくさん経験させ、「努力することの大切さ」を実感させて下さい。

【ふるさととつながり、みんなの夢があふれる学校】

子ども達の根っこは、ふるさとの「人（学校・保護者・地域）・こと・もの」と深く関わることで、より多くのものを吸収すると思っています。

そこで、大切なことは「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る。」という目標を学校と社会が共有することです。地域との結びつきをさらに強め、連携・協働しながら新しい時代に求められる資質・能力を育成していきましょう。

また、根っこを深く伸ばすことで、子ども達の夢も大きく広がっていきます。「夢・目標・めあて」をもって努力させることで、めざす姿に近づけていきたいと考えています。

Ⅲ めざす姿

【めざす児童像】	え がおで、友達と仲良くする子ども 【徳】 い よくてきに学び、進んで表現する子ども 【知】 しん ぼう強く、やりぬく子ども 【体】
【めざす学校像】	え がおあふれる学校 い きいきと活動する学校 しん けんに取り組む学校
【めざす教師像】	え がおを絶やさない教師 い つも子どもに寄り添う教師 しん しに学び続ける教師

Ⅳ 盈進っ子に身に付けさせる資質・能力 ～未来社会を切り拓くために～

生きる力	めざす児童像	身に付けさせる資質・能力
【徳】 豊かな心	【え】がおで、 友達と仲良くする子ども	【礼儀】時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。
		【親切】誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。
		【感謝】日々の生活が多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応える。
【知】 確かな学力	【い】よくてきに学び、 進んで表現する子ども	【探究】身に付けた知識や技能を活用したり、発揮したりして関連付ける。
		【協働】他者との協働によって、自らの考えを広げ深める。
		【主体】見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習を振り返って次につなげる。
【体】 健やかな体	【しん】ぼう強く、 やりぬく子ども	【健康】心身の健康に気をつけ、元気に生活する。
		【責任】自律的に判断し、責任のある行動をする。
		【努力】より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力する。

V めざす児童像（身に付けさせる資質・能力）具現化の視点

めざす児童像	資質・能力	具現化のための視点
【え】がおで、 友達と仲良くする子ども	礼儀	○進んで挨拶や返事をし、相手を傷つけない言葉を遣うことができる。【あいさつ名人】
	親切	○思いやりの心を持ち、相手の立場に立って誰にでも親切にすることができる。【なかよし名人】
	感謝	○お世話になっている人に、感謝の気持ちを持って接することができる。【なかよし名人】
【い】よくてきに学び、 進んで表現する子ども	探究	○習得した知識や技能を活用して、新たな課題を自力で解決することができる。
	協働	○学習課題に対して、友達と学び合い、自分の考えを広げ深めることができる。【ききかた名人】
	主体	○課題をとらえて意欲的に学習したり、学習したことを振り返ったりすることができる。
【しん】ぼう強く、 やりぬく子ども	健康	○食事のマナーを守り、好き嫌いをしないで残さず食べるすることができる。
	責任	○当番・係・委員会の仕事や清掃に進んで取り組み、最後まで責任をもってやり遂げることができる。
	努力	○大きな夢・高い目標・確かなめあてを持ち、あきらめないうで根気強く努力することができる。【つづける名人】

VI 「えいしんの名人たち」の取組

めざす児童像	名人	めざすゴールの姿
【え】がおで、 友達と仲良くする子ども	あいさつ	○自分から元気よく挨拶ができる。 ○いつでも・どこでも・誰にでも挨拶ができる。(地域でも)
	なかよし	○友達が喜ぶ「ふわふわ言葉」を遣うことができる。 ○困っている友達に、優しく声をかけたり進んで手伝ったりすることができる。 ○優しくしてくれた友達に、「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えることができる。
【い】よくてきに学び、 進んで表現する子ども	ききかた	○話し手を見て聞くことができる。【目】 ○耳を澄まして聞くことができる。【耳】 ○話し手の思いを尊重しながら聞くことができる。【心】 ○考えながら聞くことができる。【頭】

【しん】ぼう強く、 やりぬく子ども	つづける	○苦手・難しい勉強にも根気強く取り組むことができる。 ○失敗しても、諦めないで頑張り続けることができる。 ○係や当番・委員会等の仕事に、責任をもって取り組むことができる。 ○掃除を最後まで頑張ることができる。
----------------------	------	---

昨年度2学期から取り組み始めましたが、「名人」を目指すことで子ども達の意識が変わり、学習・生活態度にも大きな変化が見られました。そこで、今年度もこの取組を継続し、めざすゴールの姿に達成した子どもには「認定証」を渡したいと思えます。また、名人に認定された子どもを掲示して紹介することで、さらに意欲を高めたり、他の子どものやる気を引き出したりしたいと考えています。

さらに、昨年度の「あいさつ名人」「ききかた名人」「つづける名人」に加えて、「なかよし名人」をつくりました。これは、昨年度の子どもの実態・課題（乱暴な口調や言葉・相手の嫌がる行動）から、早急に改善が必要であると考えたからです。

各学級においても、子ども達の努力を見逃さず、変容を認め・みんなの前で称賛することで自尊感情を高め、自信をもって学校生活を送ることができる子どもを育てていきましょう。

VII 重点的に取り組みたい3つのこと ～「ふるさと」「資質・能力」「チーム」～

- ① 地域の「人・もの・こと」に積極的に関わり、『ふるさと』の良さに気づかせる教育活動の実践
- ② 進っ子に身に付けさせる『資質・能力』を共有し、それに基づく意図的・計画的な指導の継続
- ③ 子ども一人一人のよりよい成長のために何ができるかを追求し、『チーム』となって団結できる教職員風土の醸成

教職員集団と保護者・地域が目指す方向を一にし、協力・協働しながら、みんなで46名の子どもに関わっていくことで、一人一人の可能性を伸ばし、大きく・たくましく成長させたいと考えています。

そのためにも、常に「ふるさと」「資質・能力」「チーム」の3つのキーワードを意識しながら、日々の教育活動の充実・発展に努めて欲しいと思えます。

先生方が自分の持ち味や経験を十分に生かし、こだわりを持った指導を行うことで、子ども達の確かな変容を目指していきましょう。

VIII 「ふるさととつながる学校」を目指して

- ① 学校便り・学級通信・HP・各種案内による広報活動
- ② 各種関係機関との積極的な連携・協力体制
- ③ PTA及び地域行事等への積極的な参加協力
- ④ 地域人材・地域教材の積極的な開発と活用
- ⑤ 地域の問題を学習課題に設定したり、地域とともに学んだりする教育課程の編成

